


2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [湯沢翔北高等学校] 担当教諭名 [沓澤 信宏] (普通科3年 7名)
 交流相手国 [インドネシア]
 海外学校名 [SMA Negeri 1 Kintamani] 担当教諭名 [I Dewa Made Oka]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	課外活動 (美術)	世界と繋がろう	80

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	秋田とインドネシアを祭りで繋ぐ
絵に込めたメッセージ	生徒自身が責任を持って互いの文化と風俗を伝えあい、壁画作成で新たな発見を形にしよう。
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
英語でコミュニケーションを取ることに継続的に触れられたことで生徒は自らの発信力・受信力を高めた。また、国際理解のための協働学習を通して秋田と湯沢についてより知ることもできた。	受験勉強が本格化する時期に、下級生に活動を引き継いでもらえるよう、科単位でさらに縦断的に参加メンバーを構成すべきであった。

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
本校普通科・商業科・工業科の課題研究発表会でプロジェクトへの取り組みについて知らせた。活動内容は秋田県高等学校国際教育研究協議会にも寄稿した。	校内では普通科がグローバルな活動をしていることに対して反響があり、活動内容について質問が投げかけられた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	5～7月	スケジュールの確認をし、英会話を特訓した。	ALT の指導のもと、着々と取り組んだ。	放課後
情報収集	8～9月	秋田県湯沢市の文化・風俗について話し合い、何を伝えるか選別した。	稲庭うどんを川連漆器を用いて食べて見せるなど、具体的なアイデアを出し合った。	放課後
テーマ検討	10月	スカイプを使い、文化の共通項を見つけ合った。	お祭りを大切にしている共通項を見つけることができた。	放課後
制作	11月～2月	普通科3年生が中心となり構図を決め、美術部員が作成した。	十分な話し合いのおかげでスピーディな制作となった。	放課後
鑑賞	3月	全校生徒が利用する教室の前に展示中である。	新入生説明会でも多数の生徒と保護者が足を止めて見てくれた。	放課後

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことを ABC で記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	自文化の新たな発見を生徒は楽しそうに話していた。
異文化の理解	A	5	分からないことは積極的に質問し、新たに知ったことはスカイプ終了後も話題にしていた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	5	特にリスニング能力の向上について、センター試験平均点に現れた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	4	集めた情報をどう伝えるか筋道を立てて話し合っていた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	4	普通科の3年生と1年生が協力して制作できた。
協働する力 (役割分担・協力)	B	4	上記のように学年を越えて役割分担をし、作業できた。
学習を追究する意欲	B	4	フォーラム、スカイプ以外にコミュニケーションの方法は無いか生徒は話し合っていた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	5	英語の表現をコミュニケーション前に話し合い、整然としたものを用意していた。
作品を鑑賞する力	B	4	生徒は何度も展示場所に足を運んでいる。